

福島第一原子力発電所 2号機使用済燃料プール内調査の開始について

< 参 考 資 料 >
2020年6月10日
東京電力ホールディングス株式会社
福島第一廃炉推進カンパニー

<概要>

- 本日（6月10日）午前9時47分から、震災後初めてとなる2号機使用済燃料プール内調査を開始しました。
- 本日の調査では水中ROVを用いて、燃料や燃料ラック上部、プールゲート及びスキマサージタンク入口の状況を確認しました。現時点では、燃料ラックや燃料ハンドルの損傷など、燃料取り出しに支障となるような状況は確認されておりませんが、今後撮影した映像を詳細に確認してまいります。
- 引き続き、安全最優先で調査を行うとともに、今後、調査結果を燃料取扱設備の設計等に反映することで、2024年度から2026年度に開始予定の2号機使用済燃料プールの燃料取り出し作業に向けて、着実に取り組んでまいります。
- なお、今回の調査では、技術力向上を目的に、福島ロボットテストフィールド（南相馬市）にてモックアップ訓練を実施した上で当社社員が水中ROVの操作をしております。



【水中ROVによる調査作業の様子】



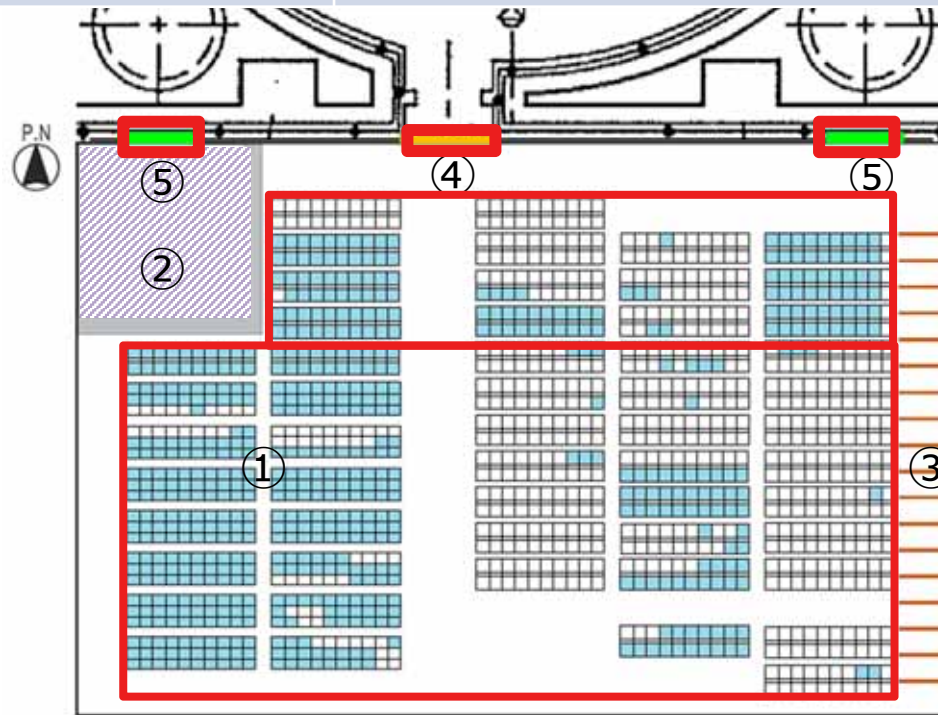
【SFP内の燃料、燃料ラック上部の様子】



【SFP内のプールゲートの様子】

【参考】 S F P内調査の対象

調査対象	確認のポイント
① 燃料・燃料ラック上部	燃料や燃料ラック上部の干渉物や変形の確認
② キャスクピット	キャスクピット底部の干渉物、キャスクピット梁の変形の確認
③ 制御棒	制御棒落下、制御棒ハンガーの変形の確認
④ プールゲート	プールゲートの変形、プールゲートを抑えるボルトの状態の確認
⑤ スキマサージタンク入口	入口の可動堰の変形、可動堰の止めネジの外れの確認



調査対象項目のSFP内配置

<調査対象物>

■ :① 燃料、燃料ラック
(□は燃料が入っていないラックを表す)

▨ :② キャスクピット

≡ :③ 制御棒、制御棒ハンガー

■ :④ プールゲート

■ :⑤ スキマサージタンク入口

□ : 6/10調査実施箇所